

(1) 教育活動の目標と方策	(2) 重点目標と方策
<p>1 学習指導</p> <p>(1) 質の高い授業を創造する。</p> <p>① 知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を実践する。</p> <p>② オンラインや一人1台端末を活用することや、双方向の授業を行い、生徒が思考・判断・表現する場面を設定することにより、生徒が学びに向かう力や人間性を涵養する。</p> <p>③ CAN-DO リストを活用した指導と評価に取り組むとともに、外部試験による生徒の4技能別英語力を把握し、指導方法を改善する。</p> <p>④ 相互授業参観や指名制による授業研究、外部の研究会への参加などによって、授業力向上に努める。また、その成果を各教科で共有する。</p> <p>(2) 「教科マネジメント」を確立し、組織的に生徒の学力向上に取り組む。</p> <p>① 3年間を見通した指導計画を作成し、それに基づく教科指導を行う。</p> <p>② 授業の取組や定期考査・外部模試等の分析、生徒による授業評価を活用し、授業改善に取り組む。</p> <p>③ 学力スタンダードに具体的な学習目標を明示し、校内で組織的・効果的な指導を行う。</p> <p>④ 記述力・論述力を測る定期考査を実施するとともに、定期考査問題の共通化を推進する。</p> <p>(3) 理解力や想像力を育み、幅広い教養を身に付けさせる。</p> <p>① 図書館での自学自習と読書活動を支援する。</p>	<p>(1) 授業改善に組織的に取り組み、学力の向上を図る。</p> <p>① 生徒による授業評価を年2回実施し、分析結果を基に校内研修を行う。</p> <p>② 学力スタンダードの目標に基づき指導と評価を行い、教科主任会等を中心に指導内容・方法の改善を図る。</p> <p>③ 授業に関する校内研修や教科会を開催し、授業改善を図る。</p> <p>④ 教育課程委員会を中心に各教科で定める育成したい資質能力や、グランドデザインを軸とした教育目標の実現に向け、新教育課程への円滑な移行に努める。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 生徒による授業評価の各項目で、肯定割合80%を継続させる。 [学習内容①90.3% ②90.6%、能力の伸長①88.6% ②89.2%、関心・意欲①84.0% ②86.2%、主体的な取組①84.1% ②86.6%]</p> <p>イ 学校評価アンケート(満足できる授業)80% [生徒77.0%、保護者77.6%] を継続させる。</p> <p>ウ 全科目において大学入学共通テスト全国平均+10.0p [+9.6p] の平均点(100点満点換算)を達成する。</p> <p>エ 実用英語技能検定の3年時合格者、2級以上160人、準1級以上20人を達成する。</p>
<p>2 進路指導</p> <p>(1) 生徒の第一志望の実現を図る進学指導を行う。</p> <p>① 生徒の成績推移等の情報を共有し、担任・教科担当・部活動顧問等があらゆる場面で生徒を励ましながら、第一志望を貫くように学校全体で支援する。</p> <p>② 「進路ニュース」を月1回程度発行し、情報提供に努める。</p> <p>③ 進路指導部と担任・教科担当の連携を深め、組織的な進路指導の充実を図る。</p> <p>④ 生徒面談や三者面談等を通じて、一人一人の適性・能力に応じた指導を行う。</p> <p>⑤ 1・2年夏季特別講習(希望者)により、高い学力を育てる。</p> <p>⑥ 「信州北園プロジェクト」を通して、実践的なキャリア教育を推進する。</p> <p>⑦ 保護者会等の機会や、classi 及びO365 を活用することで、進路に係わる情報を積極的に提供する。</p>	<p>(1) 国公立・難関私立大学受験の取組を強化する。</p> <p>① 外部模試等終了ごとに模試分析会を実施、適宜個別ケース会議を設定し、学校全体で情報共有を図る。</p> <p>② 模試等の結果について教科会で検討し、教科指導・個別指導へ反映させる。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート(第一志望実現を支援する進路指導)80% [生徒84.8%] を継続させる。</p> <p>イ 国公立大学現役合格者60名 [50名] を目指す。</p> <p>ウ 大学入学共通テスト出願率95% [96.5%]、5教科7科目受験45% [39.7%] を達成する</p> <p>エ 長期休業期間中に100講座以上 [89講座] の補習・講習を実施する。</p> <p>オ 学年+1時間の自主学習時間を確保する指導を行い、50% [32.6%] の達成を目指す。</p>
<p>3 生活指導</p> <p>(1) 全教職員が一致して生徒と向き合う生活指導に取り組む。</p> <p>① 年間3回以上の生徒面談を実施し、生徒理解を深める。</p> <p>② 基本的生活習慣を確立させるとともに、組織的に遅刻指導に取り組む。</p> <p>③ ノーチャイムによる授業の始業・終業を徹底し、けじめある授業規律を徹底する。</p> <p>④ いじめのアンケートを年3回(7月、10月、1月)実施し、早期発見に努める。</p>	<p>(1) 規律ある学校生活の中で、自立の精神を養う。</p> <p>① 全教職員が一致して生活指導にあたり、生活規律を確立させる。</p> <p>② 自律的な高いモラルをもって社会の中で行動ができるよう、すべての教育活動を通じて育成する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 遅刻指導を徹底し、遅刻者数を減らす。(各クラス1日平均1人以内 [1.58人])</p> <p>イ 学校評価アンケート(生徒と向き合う生活指導、いじめ防止、防災教育の取組)80% [生徒77.5%、85.0%、</p>

(3) 自己評価 [昨年度数値]、※：わからない	(4) 次年度以降の課題と対応策
<p>1 学習指導 【B】</p> <p>相互授業参観や模範授業参加による授業研究、外部の研究会への参加に努めた。また、一人1台端末の活用とともに、主要教科で自動採点・分析システムを活用する等、デジタル技術の活用に重点を置いた校内研修を実施し、コロナ禍における教員全体の授業改善に対する意識を高め、全ての教科が必要に応じてオンライン授業を実施した。生徒による授業評価をすべての生徒を対象に5教科で実施し、一定の肯定的評価が得られるとともに、必要に応じてのフィードバック等、授業改善に活用した。また、5教科の定期考査は、ほぼ共通問題で実施し、知識・技能だけでなく、思考力及び記述力・論述力を測る定期考査の作成に各教科で取り組んだ。今年度もノーチャイム制を継続し、生徒の時間管理や授業規律への意識啓発に努めた。次期学習指導要領に向け、観点別評価の導入に向けた校内研修を実施するなど、全教科がその準備に努めた。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 生徒による授業評価の肯定的評価の割合 「学習内容のわかりやすさ、準備・工夫」①92.2% ②92.8% 「思考・判断・表現力の伸長」①90.4% ②90.7% 「興味・関心、意欲の喚起」①86.1% ②87.0% 「課題や目標をもち、主体的に取り組んだか」①85.5% ②87.0%</p> <p>イ 学校評価の肯定的評価の割合 「生徒の主体的な授業参加」 生徒87.8%、保護者81.4%(※2.3%) 「満足できる授業が多い」 生徒74.3%、保護者73.6%(※8.5%)</p> <p>ウ 大学入学共通テスト全国平均比較+8.6p</p> <p>エ 実用英語技能検定の3年時合格者、2級以上138人、準1級以上16人</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) 教職員のデジタル技術の活用力の育成に向け、O365等での学習支援に組織的に取り組み、すべての教科で、いつでも生徒が自宅で学習活動を継続できるよう準備するとともに、一人1台端末を活用できるよう努める。学校評価「満足できる授業が多い」の肯定割合が74.3%と昨年昨年より若干下降しており、今後も継続して授業改善に取り組んでいく。</p> <p>(2) 新学習指導要領の円滑な移行継続とともに、必要に応じて、教育目標の具現化に向けた新教育課程の改善等、調整に努める。</p> <p>(3) 図書館は自習室の利用が主で、生徒への本の貸出数も多くない。ビブリオバトルを活用し、生徒の読書活動への支援に努める。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) 各教科の授業改善への取組みとともに、教員個々のオンライン教育等に向けたITスキルの向上とともに、HRや各教科での一人1台端末の活用等、ITを活用した授業に関する校内研修を継続して実施する。</p> <p>(2) 新学習指導要領の実施に際し、教育課程委員会及び教科会を中心に観点別評価の策定等、新教育課程への円滑な移行に努める。</p> <p>(3) ビブリオバトルでの取組みを充実させるとともに、図書館専門員を活用し、授業での図書館利用や、ポップ等の工夫による本の貸出しの促進に努め、生徒の読書活動を支援する。</p>
<p>2 進路指導 【B】</p> <p>進路ガイダンス、キャンパス訪問、合格速報会、模試分析会、個別ケース会議及び教科会など、校内全体での組織的な指導や情報共有に努めた。面談指導ではコロナ禍で計画通りとはならない中、オンラインも活用し、国公立中後期の指導等、最後まで粘り強く生徒の支援に努めた。国公立大学の第一志望割合は、1年49.8%、2年42.7%、3年35.8%。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「第一志望実現を支援する進路指導」 生徒84.8%、保護者71.4%(※8.0%) 「進路指導の中で評価できる項目(複数回答)」 講習・補習18.1%、各種ガイダンス45.0%、模試指導29.9%、進路講演会50.1%</p> <p>イ 国公立大学現役合格者52名 [50名]</p> <p>ウ 大学入学共通テスト出願率98.1% [96.5%]、内5教科7科目型40.8% [39.7%] (128名 [124名])</p> <p>エ 長期休業期間中に87講座の補習・講習を実施</p> <p>オ 自主学習時間(学年+1時間の確保)41.0% [32.6%] 1年平均1h13m(1h 72.4%、2h 27.6%)、 2年平均1h32m(2h 83.3%、3h 16.7%)、 3年平均4h40m(3h 23.1%、4h 76.9%)</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) 自習環境を整え、1・2年生の自主学習時間を増やすとともに、受験準備を早期に開始させることにより、第一志望実現を支援する。</p> <p>(2) 主体的な学習を促すため、キャリア教育に沿った学習指導、進学指導を行う。共通テストに向け、「進路の手引き」、「進路だより」を充実させ、一人1台端末やO365等を効果的に活用する。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) 3学期を次学年0学期と位置付け、校内の自習環境を整備するなど、学年・進路指導部・各教科が連携して組織的にスタートさせる。</p> <p>(2) 大学入学共通テスト等に対応した「進路の手引き」の改訂を継続して行う。キャリアガイダンスや進路講演会、キャンパス訪問等、オンラインの活用も含め、進路指導の改善・充実を図る。情報セキュリティ部を中心に、分掌や学年、教科がそれぞれデジタル技術の組織的な活用を推進する。</p>
<p>3 生活指導 【B】</p> <p>SNS使用や薬物乱用防止に関する講演会を実施した。適切で合理的な指導に向け、北園共生会議等、校則の点検、見直しに取り組んだ。全学年で遅刻指導を継続的に行ったが、全体として遅刻者数(各クラス1日平均)1.97人 [1.58人]となり、目標を達成できなかった。宿泊防災訓練が未実施の中、感染防止に努めながら、避難訓練は5回実施した。なお、「学校生活の中で規律を大切にし、マナーを守っている」と自己評価している生徒は84.4% [96.9%]であった。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 遅刻者数(各クラス1日平均) 1年0.78人、2年2.27人、3年3.62人、全校2.22人</p> <p>イ 学校評価の肯定的評価の割合</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) 3年生の2学期以降の欠席・遅刻者数増加は継続的課題であり、その改善に取り組む。</p> <p>(2) 様々な理由から、中退者(うち転学者)は11人(8人) [7人(6人)]と一定数ある。</p> <p>(3) 校則の点検、見直しに継続して取り組む。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) 集中講座の見直し等、欠席・遅刻数を増やさない方策を継続して検討・実践する。</p> <p>(2) アンケート調査や、SCや専門医による教育相談の活用等、組織的指導の充実を図る。</p>

<p>⑤ 防災教育推進委員会を設置し、地域等と連携した防災訓練とともに、年3回の避難訓練を計画・実施する。</p>	<p>71.2%）を目指す。</p>
<p>4 健康づくり等</p> <p>(1) 健全な心身を育む取組を行う。</p> <p>① スクールカウンセラーによる1年生全員面接を実施する。</p> <p>② スクールカウンセラーや専門医を活用して、校内研修会や事例検討会を充実させる。</p> <p>③ 体力テストで自己の課題を把握させ、一人一人が自分の目標をもって取り組む指導を行う。</p> <p>④ 校内施設・設備の維持管理に努め、生徒の安全安心な活動を支援する。</p> <p>(2) 校内美化・保健衛生に取り組む。</p> <p>① 「保健だより」を月に1回程度発行し、生徒に情報を発信する。</p> <p>② 月1回の大掃除などにより清掃を徹底し、全校あげて校内美化に取り組む。</p> <p>③ アレルギーをもつ生徒情報を共有するとともに、エビペンの使用方法に関する研修を4月中に実施する。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に努める。</p>	<p>(1) 教育相談機能の充実を図る。</p> <p>① スクールカウンセラーとの連携を密にし、ケース会議を開催するなど情報を共有する。</p> <p>② 精神科医による学校相談活動を学期に1回以上、年に3回程度実施する。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症に対する予防策等の徹底に努める。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（教育相談の整備、校内美化の取組）80%〔生徒81.6%、78.5%〕を目指す。</p> <p>イ 体力合計点の各学年の校内平均値を、全国平均値へと向上させる取組〔全国比-2.5p〕を行う。</p>
<p>5 特別活動・部活動</p> <p>(1) 文武両道を推進し、特別活動・部活動を充実させ、生徒の帰属意識を高める。</p> <p>① 終祭、体育祭、修学旅行等の学校行事を通して、達成感や達成感を高める。</p> <p>② 地域、関係機関との連携を密にし、地域行事、ボランティア活動、奉仕活動へ参加させる。</p> <p>③ 部活動への加入（一人一部活動・兼部可）を奨励し、部活動加入率を高め、部活動を活性化させる。</p> <p>④ 生徒会を中心にボランティア活動や地域等の社会貢献活動を継続させる。</p> <p>⑤ 東京2020大会以降のレガシーの構築を踏まえ、すべての教科に位置付けて行う。</p> <p>(2) 理数に興味・関心を持つ生徒の裾野を広げ、探究活動に取り組ませる。</p> <p>① 「科学の祭典」に参加するなど、その他各種科学コンテストへの出場を目指す。</p> <p>② 専門機関の講師による講義や実習を実施し、研究及び発表内容の充実を図る。</p>	<p>(1) 特別活動や部活動を通じて、個性豊かな人間性を育む。</p> <p>① 生徒の実行委員会を中心に、主体的に学校行事に取り組ませる指導を行う。</p> <p>② 生徒会活動・委員会活動を充実させ、自主的・自立的な活動を支援する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ア 学校評価アンケート（学校行事の取組・部活動満足度）80%以上〔生徒94.4%、88.7%〕を継続させる。</p> <p>イ 部活動加入率100%〔104.0%〕を継続させる。</p>
<p>6 募集・広報活動</p> <p>(1) 本校を第一志望とする生徒を獲得する。</p> <p>① ホームページを積極的に活用し、適時適切な情報発信に努める。</p> <p>② 学校説明会や学校見学会、公開授業などの機会に、生徒会等と協力し、学校の特色や魅力を伝えていく。</p> <p>③ 部活動の見学・体験入部、中学校との合同練習などに積極的に取り組む。</p> <p>④ 一定程度の本校志願者の確保に向け、組織的かつ戦力的に広報活動を推進する。</p>	<p>(1) 広報活動を工夫し、適時適切な情報発信を行う。</p> <p>① ホームページの活用に努め、年間180回以上〔158回〕更新し、見やすく精選された内容にすることで学校情報の更新を行う。</p> <p>② 学校説明会（年3回）、学校見学会（夏季休業中及び臨時）、公開授業（年3回以上）の他、中学生部活動体験、中学校・学習塾訪問を実施する。</p> <p>③ 全教職員で広報活動に取り組み、コロナ禍での情報発信を工夫するなど、認知度が低い地域の中学校や学習塾への対応等、戦略的に広報活動を展開する。</p> <p>【数値目標】</p>

<p>「生徒と向き合う適切な生活指導」 生徒84.4%、保護者77.1%（※7.2%） 「いじめ防止の組織的な取組」 生徒73.8%、保護者42.9%（※29.6%） 「防災教育を通じた自助・共助の育成」 生徒64.6%、保護者41.4%（※28.6%）</p>	<p>(3) 組織的な生活指導に努め、生徒、保護者及び教職員から意見を継続して聴き取るとともに、学校の指導方針の明示にも努める。</p>
<p>4 健康づくり等 【B】</p> <p>専門医派遣事業による学校相談活動をスクールカウンセラーと連携して3回実施し、情報共有と内容の充実を努めた。今年度も不登校傾向のある生徒が一定数存在する中、コロナ禍等での出席停止扱いと欠席の見極めに苦慮した。感染防止の観点から教室のごみ箱の撤去を継続し、ごみの持ち帰り等、生徒の意識啓発を図り、教室美化等でその成果を得た。また、空調設備の不調への対応に努めた。体力合計点が男子52.4p、女子50.9pで昨年度よりも若干低下した。</p> <p>昨年度でトイレの洋式化工事は終了しており、トイレの洋式化率は76.7%である。また、委託業者を活用して清掃を徹底し、トイレの臭いや汚れ等の改善への取組みを継続した。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「カウンセリングなど教育相談機能の整備」 生徒70.8%、保護者44.3%（※29.6%） 「生徒の校内美化への積極的な取組」 生徒80.4%、保護者51.5%（※15.8%） 「清掃が行き届いていない場所（複数回答）」 更衣室24.1%、階段廊下21.3%、普通教室15.3%</p> <p>イ 体力合計点の全国平均比較-3.4、都平均比較+0.8</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) 冷暖房や火災報知器、教室の窓等、学校施設・設備の老朽化による故障が相次ぎ、早期改修が喫緊の課題となっている。</p> <p>(2) テニスコートの老朽化が激しく、補修も部分的なものに留まっており、体育の授業や部活動の円滑実施に向け全面改修が必要である。</p> <p>(3) 感染症予防への取組みや、コロナ禍での登校等、配慮が必要な生徒への個別対応や、メンタルケアに向けた教育相談等を充実させる。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) 老朽化した窓や空調設備等の継続的な修繕・改修を図り、施設の維持管理に努める。</p> <p>(2) テニスコートの全面改修については、都教育委員会への要請を粘り強く継続していく。</p> <p>(3) 校内美化や消毒作業等に継続して取組み、清掃美化及び感染防止の徹底に努める。生徒及び教職員の健康管理とともに、SCや専門医を活用し継続的なメンタルケアに努める。</p>
<p>5 特別活動・部活動 【B】</p> <p>修学旅行とともに、新入生受け、森林体験実習、体育祭及び文化祭は開催できた。全学年でクリスマス等の学年行事も実施できた。すべての部活動が、感染防止に努めながら積極的に活動できた。部活動加入率及び部活動満足度も目標水準に到達した。生徒会を中心に行っている板橋四小、板橋五中での学習支援ボランティアは、コロナ禍のため未実施となった。森林保全講演会等を通じてボランティアマインドを培うとともに、海外語学研修は中止となったが、オーストラリア実踏やTGGの訪問、海外の姉妹校とのオンラインでの交流活動を通じて豊かな国際感覚の醸成を図った。天文観測会や磯の観察会、鹿の解体実習は実施し、多くの生徒が参加した。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「生徒の学校行事への積極的な参加」 生徒93.6%、保護者92.2%（※0.8%） 「学校行事による個性豊かな人間性の育成」 生徒88.5%、保護者78.6%（※6.3%） 「学校行事の中で評価できる項目（複数回答）」 終祭88.6%、体育祭76.2%、クリスマス63.6% 「部活動満足度」 生徒86.8%、保護者76.4%（※4.7%） 「部活動で評価できる項目（複数回答）」 種類の数71.5%、評価できるものがない2.6%</p> <p>イ 部活動加入率105%〔104%〕</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) コロナ禍で中止となっていた学校行事や特色ある教育活動の再開、継続等に向けた準備等、効果的な対応。</p> <p>(2) ウィズコロナでの部活動の充実と活性化。</p> <p>(3) ウィズコロナでの生徒会・委員会活動の充実と活性化。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) 地域との共生も視野に、教職員の意識を共有化し、課題の整理等、組織的に検討を図り、柔軟にウィズコロナに対応し、行事の再開、充実を図る。また、必要に応じて、現状を踏まえた学校の方針等、生徒や保護者への丁寧な説明に努める。</p> <p>(2) 部活動の加入率を継続して高めるとともに、一層の活性化と活動への支援の充実を図る。ウィズコロナにおける活動中の感染防止に努める。</p> <p>(3) ウィズコロナにおける生徒の自主的・自律的な活動を組織的に支援することで、生徒会・委員会活動の一層の充実を図る。</p>
<p>6 募集・広報活動 【A】</p> <p>学校ホームページの年間更新回数は155回〔158回〕で昨年度同様、コロナ禍での対応や学年だより等の積極的な情報発信により、日々の教育活動の周知に努めた。</p> <p>学校見学会・学校説明会は、コロナ禍で制限のある中、開催の機会を増やすことで、その参加者は4500人〔2916人〕と増加した。さらに、個別見学や学習塾訪問の実施等、広報活動を継続させ、入学選抜において、応募倍率は推薦3.32倍、学力1.80倍であった。</p> <p>【数値実績】</p> <p>ア 学校評価の肯定的評価の割合 「ホームページなどによる適切な情報発信」 生徒69.0%、保護者74.3%（※12.7%）</p> <p>イ 来校者アンケートの肯定的評価の割合 「学校説明会・学校見学会に参加して満足している」</p>	<p>【課題】</p> <p>(1) ホームページ等での適時適切な情報発信。</p> <p>(2) 学校見学会・学校説明会の内容の充実。</p> <p>(3) 一定程度の本校志願者確保に向けた、組織的かつ戦略的な広報活動の推進。</p> <p>【対応策】</p> <p>(1) ホームページの更新や充実を努め、生徒・保護者及び受験生等に必要な情報を精選し積極的に発信する。</p> <p>(2) 学校見学会及び学校説明会で、オンラインの活用や在校生の出番を増やすなど工夫し、本校の魅力をわかりやすく発信する。</p>

	ア 学校評価アンケート（ホームページによる適切な情報発信）80%〔生徒84.2%〕を継続させる。 イ 来校者アンケート（参加満足度）90%〔86.8%〕を目指す。
7 特色ある教育活動 (1) 海外学校間交流推進校として、国際理解教育を推進し、世界で活躍できる人材を育成する。また、国際交流リーディング校としての活動を充実させる。 「学校2020レガシー」として、相互交流を中心とした豊かな国際感覚を育成する。 ① スミスヒルハイスクール及びウヌーナハイスクールとの姉妹校連携（海外語学研修）を充実させる。 ② ドイツ姉妹校のテレッタ・グロース・ギムナジウム及びロベルト・シューマン・ギムナジウムへの生徒短期留学を実施する。 ③ ドイツへの短期留學生徒派遣事業、PASCH キャンプへ派遣する。 ④ 東京国際フランス学園「リセ」との交流活動を定期的に行う。 ⑤ 北方四島青少年の受入れ等、ロシア日本語履修高校生招聘と生徒の派遣等を行う。 (2) 「信州北園プロジェクト」によるキャリア教育・環境教育、探究活動を充実させる。 ① 新入生セミナーにより、高校生の基盤作りを行う。 ② 森林探究実習により、タフな人間力を育成する。	(1) 相互交流を主体とした国際理解教育を推進する。 ① 豪・スミスヒルハイスクール及びウヌーナハイスクールとの海外語学研修を実施する。 ② PASCHのパートナー校としての国際交流を充実させる。 ③ 語学検定の合格、全国スピーチコンテストの入賞を目指す。 ④ 海外学校間交流推進校として、一層の連携強化を図る。 【数値目標】 ア 学校評価アンケート（国際理解教育の充実度、「信州北園プロジェクト」による人間力育成）80%〔生徒83.7%、68.7%〕を継続させる。
8 学校経営・組織体制 (1) 進学指導推進校として組織的な学校運営を推進する。 ① 企画調整会議と各分掌、経営企画室との連携を密にし、ボトムアップ機能を充実させる。また、経営企画室職員は、年3回分掌会議へ参加し、学校の課題を共有する。 ② 教科会を充実させるとともに、教科主任会を適宜実施し、教科を横断した学習指導に関する情報交換や連携を促進する。 (2) 服務事故の未然防止に努める。 ① 年3回の服務事故防止研修等により個人情報の管理や体罰等の防止対策を徹底する。 (3) 働き方改革を推進する。 ① 在校時間を適切に把握するとともに、年次有給休暇等の取得推進など、教員の意識改革を図る。 ② 各種会議の上限時間を定めるなど、教職員の業務見直しなど、業務改善に努める。 ③ 超過勤務縮減に向けた取組として、定時退庁ウィークを年数回設け、教職員の在校時間を縮減する。	(1) PDCA（計画、実施、評価、改善）のマネジメントサイクルの機能を高める。 ① 学校評価、生徒による授業評価、来校者アンケート等を活用し、学校経営計画の目標を適切に評価し、改善に生かしていく。 (2) 整理整頓に組織的に取り組み、答案や紙ベース等、個人情報の管理を徹底する。 (3) 各種会議の時間短縮や校内の業務効率化を推進し、教職員の在校時間を縮減する。執務室の整備等、働きやすい職場環境を構築する。 【数値目標】 ア 学校運営連絡協議会の協議委員の「学校が良くなった」評価100%〔71.4%〕を目指す。 イ 学校評価アンケート（体罰や暴言のない指導の実践）90%〔生徒89.6%〕を目指す。

※ 参考資料(過去4年間からの推移)

1 学校見学会・学校説明会参加人数の推移 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
学校見学会	2753	3014	394	1812	1136
学校説明会	2003	2304	1220	1104	3364

2 第二外国語履修者数の推移 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ドイツ語	175	141	119	150	149
フランス語	75	102	95	83	74
ロシア語	18	22	21	18	19
中国語	78	83	75	93	89

	86.2% 「説明会の中で有用あるいは印象的な情報(複数回答)」 生徒の話80.6%、学校行事・信州北園プロジェクト50.6%、国際理解教育50.0%	(3) 全教職員が組織的に広報活動に取り組み、応募倍率増加の要因分析、認知度が低い地域の中学校や学習塾への対応等、工夫のある広報活動を展開する。
7 特色ある教育活動 【B】 豪・独との海外語学研修、生徒受入は、コロナ禍により中止としたが、8月、2名の生徒がPADに参加し、教員2名が次年度のオーストラリア語学研修の実施に向け、現地での打ち合わせ等、実践に努めたとともに、3月、TGGの生徒たちの本校への訪問を実現できた。また、生徒をスピーチコンテストや姉妹校等とのオンライン研修会、「リセ」との交流、ドイツ関連のオンラインシンポジウムに参加させるなど、交流活動に積極的に取り組んだ。独語検定は、A1で16名が合格した。 コロナ禍であったが、新入生セミナー及び森林保全合宿は無事実施することができた。また、昨年度より「信州北園プロジェクト・探究推進部」を新設し、3年生において、「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」への円滑な移行を図るとともに、その内容や指導体制の充実にも努めた。 1年の勉強合宿は、オリンピックセンターを会場とした校外での特別講習に変更し、2年生の構内での特別講習と夏季休業日中の同時期に実施した。 【数値実績】 ア 学校評価の肯定的評価の割合 「国際理解教育の充実度」 生徒78.6%、保護者65.0%(※16.7%) 「信州北園プロジェクトによる人間力育成」 生徒57.2%、保護者69.2%(※29.6%)	【課題】 (1) フランス語、ロシア語、中国語受講生徒にも相互交流の機会を拡張。 (2) 1年生の勉強合宿に代わる特別講習等、代替企画の継続的検討。 (3) 1・2年生の夏期特別講習の充実。 (4) 「森林探究実習」の充実と「総合的な探究の時間」との連携。 【対応策】 (1) フランス語では、「リセ」との交流の機会拡大を継続して検討する。また、ロシア語、中国語では、交流校の開拓を検討する。 (2) 校内だけでなく、校外での実施も視野に入れ、夏季特別講習等について検討する。 (3) 上位層等の学力の増進を視野に工夫して開講に努めるとともに、内容を充実させ、参加を促していく。 (4) 信州北園プロジェクト・探究推進部を中心に、「森林探求実習」と「総合的な探究の時間」との連携を図る中、これまでの調査活動も振り返ることで、調査からデータの収集整理、考察等に至るまで、具体的な検討に努める。	
8 学校経営・組織体制 【A】 ライフワークバランスの推進の継続に、コロナ禍における対応が加わり、今年度も学校評価の経年変化を見ることが困難であった。なお、学校見学会・説明会では、昨年度よりも来場者が増加した。来校者アンケートや授業公開参加者の授業評価の結果をフィードバックして、次年度の説明会等に効果的に生かしていく。 コロナ禍で先の見通せない中であったが、学校経営計画の教育活動の目標達成について、実現可能な範囲で多面的に評価することで、次年度の学校経営で一層の改善、推進ができるよう努めた。 経営企画室が分掌会議に参加することで、教員と積極的に連携を図り、組織的な学校運営に取り組んだ。 安全衛生委員会を定期的に開催し、男性の育休の取得促進や、暑さ対策、ストレッチの結果を活用することで、職場の環境改善に努めた。 【数値実績】 ア 学校運営連絡協議会の協議委員の「学校が良くなった」という評価60%（無回答30%） イ 学校評価の肯定的評価の割合 「体罰や暴言のない指導の実践」 生徒94.2%、保護者84.3%(※7.7%) 「北園に入学して満足している」 生徒93.6%、保護者93.6%(※2.4%)	【課題】 (1) 服務事故の未然防止への取組みの徹底や、紙ベース等、個人情報の取扱における管理徹底、紛失事故の防止が継続的課題である。 (2) ライフワークバランスにおけるウィズコロナへの社会的変化への対応とともに、超過勤務縮減や職場環境の改善に向けた働き方改革について、一層の推進が求められる。 【対応策】 (1) 校内研修を形骸化させず、当事者意識をもって参加できるよう工夫し、服務事故防止に向けた対策を徹底する。また、業務ごとに個人情報の管理徹底を繰り返し確認するなど、個人情報の紛失等の事故を未然に防止する。 (2) 職員室等の執務環境の改善検証とともに、ストレスチェックの活用、看護休暇・短期介護休暇等の利用の推奨や業務の縮減など、働き方改革の推進に努める。また、各種会議の時間短縮等に取り組み、教職員の在校時間の縮減を図る。	

【評語の説明】 A 設定した目標を高率に達成 B 設定した目標を概ね達成 C 設定した目標を達成するには、もう一歩 D 設定した目標はほとんど未達成

3 センター試験・共通テスト出願率の推移 (単位:%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
センター試験・共通テスト出願率	98.1	99.0	97.1	96.5	98.1
内 5教科7科目型	39.7	41.7	33.1	39.7	40.8

4 現役合格者数(国公立大学、早慶上智理科大学、GMARCH別)の推移 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国公立大学	48	58	57	50	52
早慶上理大学	37	35	34	59	46
GMARCH大学	173	192	217	269	277
合計	258	285	308	378	375